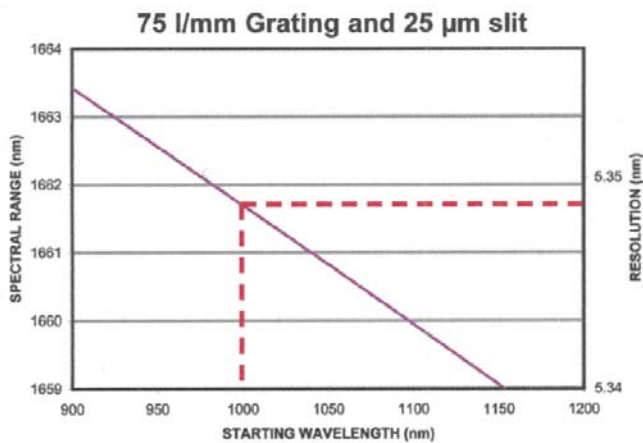


技術資料

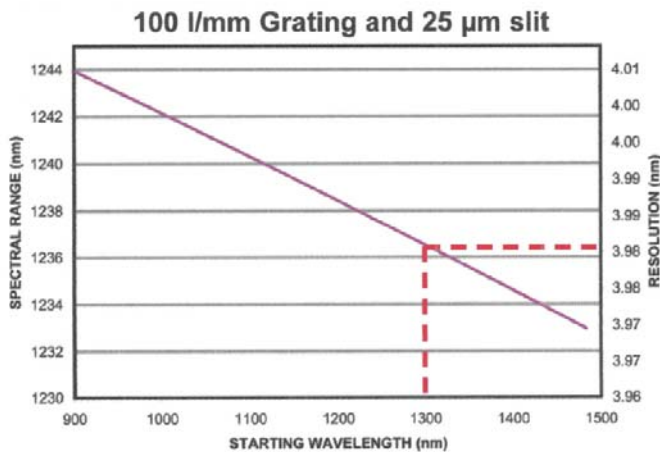
測定可能波長範囲および波長分解能(NIRQuest シリーズ)

以下のグラフは、25 μm 入射スリットと各種グレーティングの組み合わせによる NIRQuest 分光器の測定可能波長範囲と波長分解能を示しています。



設定開始波長が 1000nm のとき、波長範囲は～1662nm (1000–2662nm) となり、波長分解能は 5.34nm となります。

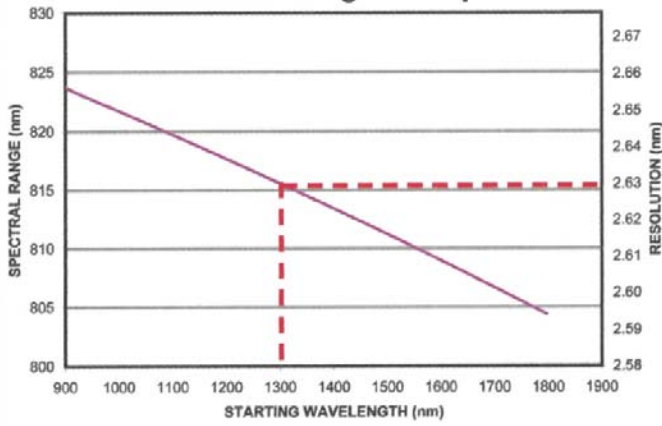
刻線数 75Lines/mm のグレーティング(NIR1)が対象となります。



設定開始波長が 1300nm のとき、波長範囲は～1236nm (1300–2536nm) となり、波長分解能は 3.98nm となります。

刻線数 100Lines/mm のグレーティング(NIR2)が対象となります。

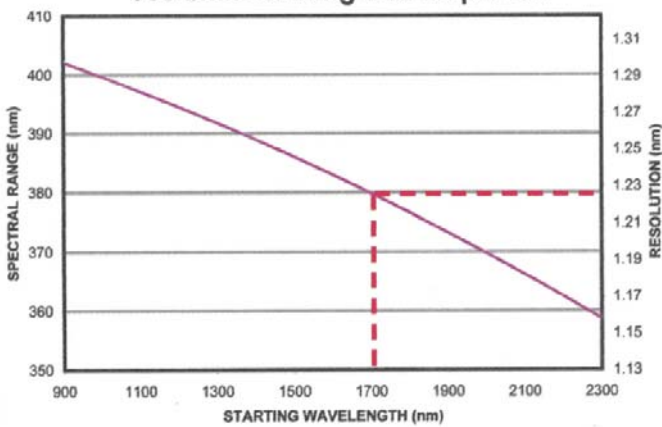
150 l/mm Grating and 25 μm slit



設定開始波長が 1300nm のとき、波長範囲は～815nm (1300-2115nm)となり、波長分解能は 2.63nm となります。

刻線数 150Lines/mm のグレーティング(NIR3)が対象となります。

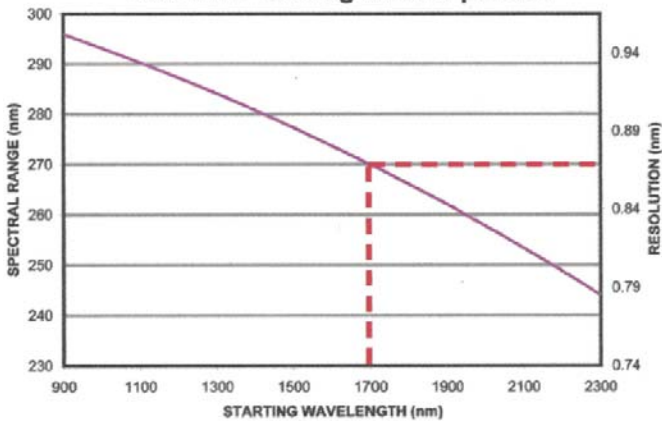
300 l/mm Grating and 25 μm slit



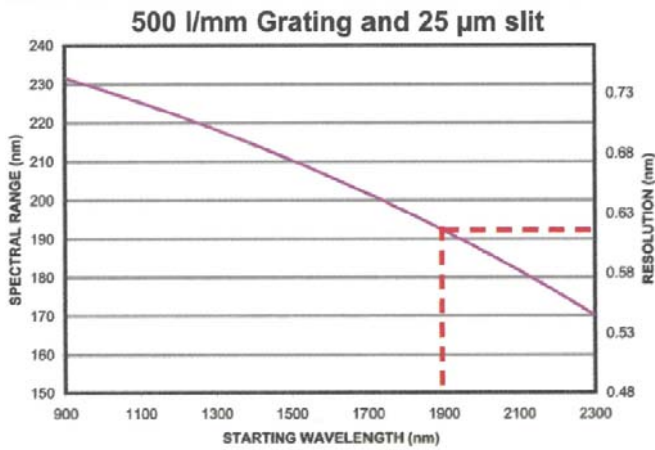
設定開始波長が 1700nm のとき、波長範囲は～380nm (1700～ 2080nm)となり、波長分解能は 0.029 nm となります。

刻線数 300Lines/mm のグレーティング(NIR10)が対象となります。

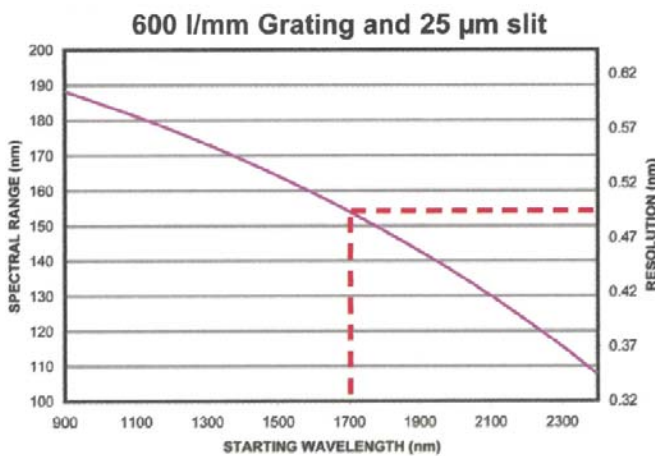
400 l/mm Grating and 25 μm slit



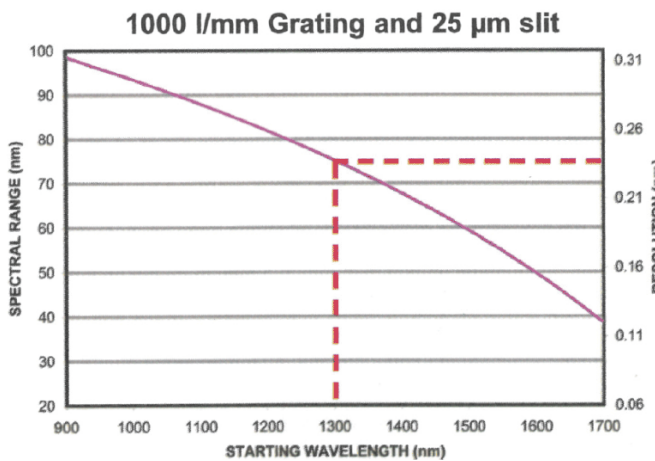
設定開始波長が 1700nm のとき、波長範囲は～270nm (1700-1970nm)となり、波長分解能は 0.85nm となります。刻線数 400Lines/mm のグレーティング(NIR11)が対象となります。



設定開始波長が 1900nm のとき、波長範囲は～192nm (1900-2092nm)となり、波長分解能は 0.62nm となります。刻線数 500Lines/mm のグレーティング (NIR12)が対象となります。



設定開始波長が 1700nm のとき、波長範囲は～154nm (1700-1854nm)となり、波長分解能は 0.49nm となります。刻線数 600Lines/mm のグレーティング (NIR13)が対象となります。



設定開始波長が 1300nm のとき、波長範囲は～74nm (1300-1374nm)となり、波長分解能は 0.24nm となります。刻線数 1000Lines/mm のグレーティング (NIR14)が対象となります。